



野口健

## 森に恵まれた美しい国

エベレストで欧米人登山家から「日本人はヒマラヤをマウント・フジにするつもりか！」と過去に日本隊が残っていたゴミを指差しながら厳しく指摘された。富士山が世界で最も汚い山の代表になっていたのだ。山の環境破壊を意識したきっかけとなった。それからエベレストの清掃登山を行うとともに、富士山の清掃活動も行ってきた。確かに、富士山は汚れていた。世界中の山々に登ってきたが山頂に立った瞬間に目に前に自動販売機がズラリと並んでいたのは世界で富士山だけだった。山小屋の隣にはそのまま放出されたトイレの紙がまるで白い川のようにそのまま蓄積されていた。樹海はまるで産業廃棄物の墓場。

日本には世界に誇れる森もある。僕が世界で一番好きな森は白神山地。ヒマラヤから戻るといつもふらりと出かけたりする。ほんと心が安らぐ瞬間だ。

屋久島もまた素晴らしい。日本は、もともと、森に恵まれた美しい国。この素敵な森を少しでも多く残したい。そう願いながら今年の夏も富士山の樹海で粗大ゴミと格闘した。「富士山なんか世界遺産になるわけない！」だとか「いまさらゴミなんかなくなるらないよ！」と言った声もよく聞こえてくる。しかし、ここで諦めるわけにはいかない。富士山で起きていることは日本全国どこでもおきている。良くも悪くも日本社会の縮図だ。日本のシンボルである富士山が変われば日本も変わると信じながら活動している僕にとって、ペコちゃんの森の存在は励みになる。先日、環境省での記者会見で「五ヵ年計画、富士山樹海ごみゼロ作戦」を発表してしまった。さて、これから忙しくなるぞ！疲れた時にはペコちゃんの森でゆっくり息抜きしようかな・・・。